

平成15年度アントレプレナーシップ事業 検討スタート！！

～「風力発電の事業化」など5テーマ設定、「第2期生」33人が決定！～

平成15年度のアントレプレナーシップ事業の検討テーマ及び検討メンバーが決定し、本日（7月9日）、辞令交付を行います。
事業2年目となる今年度は、本来の趣旨にふさわしく検討テーマの募集から行いました。ごみや環境問題、地域活動など市民に身近なテーマの提案を中心に55件の応募があり、事業の緊急性・必要性などの観点から「風力発電の事業化」など5テーマを選考しました。
テーマ募集及びメンバー募集に応募した職員の総数は、昨年の2.2倍となる133人に上りました。昨年のメンバーと比較すると、平均年齢は34歳で昨年より2歳若くなり、女性が若干増えました。
今後、メンバーによる検討の後、事業内容の提案・審査を行い、事業化すべきものは、来年度当初から事業化の取組を開始する予定です。

アントレプレナーシップ事業とは・・・

- ・ やる気のある職員の新たな発想や自発的な取り組みにより、緊急性・必要性の特に高い「市民のための事業」を推進する。
- ・ 提案した職員が事業の企画から事業化までを担当することにより、新規事業の立ち上げを促進するとともに、職員の意識改革や組織の活性化をはかる。

やる気のある職員がチャレンジできる仕組みづくりにより、「公務員マインド」を変える！

検討テーマ

5つの検討テーマ

募集期間：4月1日～14日（2週間）
応募件数：55件

- 1 民の力を活かした風力発電の事業化
 - 2 学校給食への市内産農産物の供給拡大
 - 3 「ミュージアム・シティ・ヨコハマ」づくり
 - 4 市民提案・市民主体の身近なまちづくり
 - 5 民間とのタイアップによる広告料収入の拡大
- *検討テーマの概要は裏面をご覧ください。

応募テーマの内訳

（最も関連の強い分野に整理）

ごみや環境問題に関するテーマが1番多く、次に地域活動に関するテーマが多かった。
ごみ・環境14件 文化・地域活動11件 経済・雇用8件
子ども・教育7件 福祉・保健・医療5件 都市基盤整備2件 その他8件

検討メンバー

33人の検討メンバー

募集期間：5月29日～6月11日（2週間）

- *検討メンバーは裏面をご覧ください。
- <年齢> 平均年齢34歳（最年長49歳、最年少24歳）
 - <男女別> 男性22人、女性11人
 - <所属別> 局29人（本庁15人、事務所・事業所14人）、区役所4人
 - <補職別> 係長3人、係員30人
 - <職種別> 事務15人、機械2人、建築3人、電気1人、農業3人、化学1人、土木1人、給食調理員3人、学校用務員3人、栄養士1人

<参考：14年度の検討メンバー>
7チーム31人
・平均年齢36歳（最年長51歳、最年少25歳）
・男性22人、女性9人
・局23人（本庁16人、事務所・事業所7人）、区役所8人